

# 令和2年度 札幌地区通信珠算競技大会

1. 競技の種類 総合競技とする。
2. 競技の種目と順序及び程度
  - ① 中学生以上（高校生以上の部・中学生の部）および小学生以下の部とも次の種目とし別問題とする。

a	か	け	算	中学生以上法実合わせて6～12桁、小学生以下5～11桁	5分（50題500点満点）	
b	わ	り	算	中学生以上法商合わせて6～12桁、小学生以下5～11桁	5分（50題500点満点）	
c	見	取	算	中学生以上 3～9桁、7～8口（加算及び加減算）	5分（50題500点満点）	
				小学生以下 3～8桁、6～8口（加算及び加減算）	5分（50題500点満点）	
d	見	取	暗	算	中学生以上 1～6桁、5～6口（加算及び加減算）	2分（50題500点満点）
				小学生以下 1～5桁、4～6口（加算及び加減算）	2分（50題500点満点）	
3. 順位決定
  - ① 総合競技 各部ともかけ算・わり算・見取算・見取暗算の合計得点とし、同点の場合は同位とする。但し、優勝を決める場合は決勝を行う。（優勝決定戦問題を使用）
  - 決勝問題 全部門共通 制限時間5分 かけ算わり算見取算 各10題300点満点  
制限時間内に終了した場合は挙手をし、挙手後の訂正は不可とする。  
同点同タイムは同率首位とする。
4. 入賞者数  
総合競技 ◎一般の部 ◎高等学校の部 ◎中学校の部 ◎小学校の部 ◎小学校4年生以下の部  
個人総合競技において、参加者数が10名以下の部門は優勝～5位まで、11名以上の場合は優勝～10位までとする。  
総合競技で2位以下の同点は同位（成績表は参加番号順に表示）とする。従って、入賞者の最下位に同点が出た場合は入賞枠の超過を認める。
5. 競技上の注意 各競技共全珠連珠算検定試験規則に準ずる。但し、
  - ① 競技開始前は問題用紙を完全に裏返しにすること。
  - ② 消しゴムの使用は禁止する。
  - ③ 小学校4年生以下の部については、解答のコンマは審査対象外とする。